



けすぞう新聞

拡大版

2023年12月発行
NO.72
播磨町消防団女性分団

～ようこそ 石川へ 百万石の花と咲け！ 輝く女性消防団～ 全国女性消防団員活性化大会

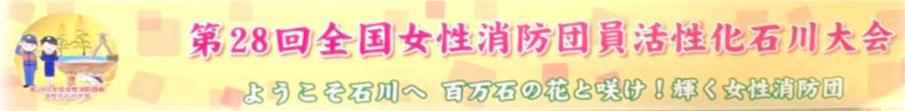
第28回全国女性消防団員活性化 石川大会

2023年11月16日、石川県金沢市で開催された全国女性消防団員活性化大会に参加しました。全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果を紹介するとともに、意見交換を通じて、連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的としています。「ようこそ石川へ 百万石の花と咲け！ 輝く女性消防団」を大会テーマにいしかわ総合スポーツセンターには約3000名が集いました。活動事例発表5団体、シンポジウムでは2団体が日ごろの活動状況を披露しました。



山口市消防団の活動発表では、防災ダンスが披露されました。「だんごおし、さる、あらいぐま」の「命を守る3つのポーズ」を楽しく学ぶことが出来る内容でした。

ダンス動画「さるさるサンバ」は慶應義塾大学 大木聖子研究室へダウンロード申請をすれば、私達も活用可能でした。



ホテル金沢に会場を移し、情報交流会にも参加させて頂きました。今回参加の3人で会場内を隅から隅まで、大会用に準備したオリジナル名刺をたくさんの団体と交換し、情報も交換しました。次回大会は2024年9月19日栃木県宇都宮市で開催予定です。



石川県観光PRキャラクター
「ひやくまんさん」

鹿児島県出水市
(後部デザイン) AEDシャツ (前部デザイン)

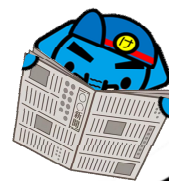
神戸新聞NEXT

2023/11/16 05:00

全国消防操法大会

WEB地域版

播磨町の女性分団初出場



神戸新聞 11月6日
朝刊に掲載されました!!

お問合せ 播磨町企画総務部 危機管理課
電話番号:079-435-0991

播磨町「女性分団」

検索

私たちの活動、けすぞう新聞はこちら



みんなで防災活動!!～野添コミセン区防災訓練～

災害から逃れるための知識(自助)と、他人を助けるための知識(共助)

2023年11月5日、蓮池小学校にて野添コミセン区防災訓練に参加しました。11月とは思えない暑さの中、

簡易担架(棒のみの場合)
服は3枚重ねましょう



①棒を掴んで服を着せる



②棒を掴んで服を着せる



③あっという間に担架完成

「水消火器の消火訓練」「簡易担架の作り方と運搬訓練」を担当しました。



消火器説明に続いて
消火訓練。逃げ道を確認
してから、**火の根本を
狙って消火。**
炎が自分より大きくなっ
たら、**無理は禁物、避
難**しましょう。



親子参加で消火訓練



物干し竿2本と毛布で作った簡易担架

4人で掛け声、同時に持ち上げ。運ぶ時は足元から、そっと動く、包み込み運搬。女性のみでも運べます。



毛布のみの簡易担架

～これが一番安定した乗り心地～

負傷者を右に向けて、毛布を挟み、左に向けて、毛布を挟む。
上向きにして、毛布の両端を硬く、くるくるロール。
重量級の負傷者は6人で運べば運搬可能です。

安心してください、令和版ですよ

2023年11月15日、大中東自治会にて防災劇「安心してください(住宅用火災警報器がついています)」を披露いたしました。平成18年(2006年)消防法が改正され、新築および既築住宅への設置が義務化されました。その際に作成した防災劇を令和版に一新しました。

当日はバスツアーと行事が重複し、皆さん来ていただけるか心配しましたが、世話役の方々を含め、約30名。青い山脈に合わせて準備体操後、ゆきおばあさんが登場、アドリブで爆笑と拍手を頂いてスタートしました。



- 火災の際煙や熱を感知して音声やブザー音で警報する「住宅用火災警報器」
- 消火器の説明と「水消火器での消火訓練」
- 自分が着ている洋服に火が燃え移ってしまう(着衣着火)の対処法「左右に転がり消す(ストップ、ドロップ&ロール)」
- 意識や呼吸のない方を発見時、できるだけ早く119番通報と「AED」(AEDの使い方)

●”安心してください、私たちは女性消防団です”の言葉の後
「簡易担架を作成」ゆきおばあさんを無事に運搬

盛りだくさんの防災劇を披露後は
「胸骨圧迫(心臓マッサージ)」

トレーニングツール”あっぱくん”を使って正確な胸骨圧迫を体感して頂きました。

上手くできると音が鳴ります。「腕を伸ばして一点集中です。」「2分継続は大変ね。」「鳴った、鳴った。上手だわ。」と和気あいあいの学習時間でした。



自分の命は自分で守る